

構造工学コース

建物や乗り物、道路や橋など、すべてのモノづくりには構造工学が必要です。構造工学コースでは、『力学を用いて「モノのかたち」(＝機能)を具現化する』を目標に、力学やデザインについて横断的に広く学ぶことができます。卒業生の多くは、建設会社、住宅メーカー、設計事務所、公務員、機械、自動車、航空宇宙、造船、鉄道、橋梁、プラント、電気機器、化学などの様々な分野で活躍しています。

タイムテーブル

参加生徒 さんの グループ	10:40	10:50	11:20	11:50	12:20
	14:00	14:10	14:40	15:10	15:40
A	コース 紹介	建築環境の研究紹介	インフラ構造物の研究 紹介	マルチフィジックスな 構造の研究	アンケー ト・談笑
B		インフラ構造物の研究 紹介	マルチフィジックスな 構造の研究	建築環境の研究紹介	
C		マルチフィジックスな 構造の研究	建築環境の研究紹介	インフラ構造物の研究 紹介	

ツアーには、事前予約なしで随時参加できます。

エレベータホール(1F)の構造工学コース受付へお越し下さい。

研究紹介・授業紹介

建築環境の研究紹介

住宅内の熱空気環境が居住者の健康に与える影響に関する研究や、室内緑化が在室者の心理反応に及ぼす影響に関する研究について紹介します。



インフラ構造物の研究紹介

社会インフラ構造物や建築物に多く使用されているコンクリート構造物の設計・施工・維持管理に関する研究について紹介します。



マルチフィジックスな構造の研究

モノづくりの基本である構造を中心として、航空・船舶・流体・電気・制御など様々な分野と融合した研究を通して、卒業生はいろいろな分野で活躍しています。

